



2023年3月29日

各 位

会 社 名 京浜急行電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 川俣 幸宏
(コード番号 9006 東証プライム市場)
問合せ先 広報・マーケティング室 (広報担当)
(TEL: 045-225-9350)

取締役報酬および執行役員報酬制度の一部改正に関するお知らせ

当社は、本日開催した取締役会において、下記のとおり取締役報酬および執行役員報酬制度（以下「本報酬制度」）を一部改正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本報酬制度改正の目的

2022年4月に、グループ理念に基づく「サステナビリティ基本方針」を策定し、「グループ理念のもとで、社会の持続的発展への貢献と京急グループの持続的発展のよりよい循環を目指す」ことを経営の基本方針として位置付けました。

同方針に則り、サステナビリティの取り組みを一層推進することを目的に、執行役員賞与の評価項目の一部に、非財務指標であるESG指標を新たに導入いたします。

あわせて、評価指標を経営計画の開示目標と合致させることにより、計画達成に向けた役員のさらなるモチベーションの向上を図るとともに、執行役員賞与と連結業績との連動性をこれまで以上に高めることにより、経営責任のさらなる明確化を図ります。

2. 本報酬制度改正の概要

(1) 現行の執行役員賞与の構成

執行役員賞与については、規程に定める標準額を基準として、連結決算を評価する部分と、業務執行の達成度を評価する部分に分けて、業績に対する評価を行っております。

なお、連結決算評価分と業務執行評価分の割合は、その職責や業務分担等を考慮し、設定しております。

役位別評価割合

	評価区分	
	連結決算評価分	業務執行評価分
社長執行役員	100%	—
副社長執行役員	70%	30%
専務執行役員	60%	40%
常務執行役員	50%	50%
執行役員	40%	60%

(2) 執行役員賞与の一部変更

イ. 連結決算評価分における評価指標の一部変更

これまで用いてきた親会社に帰属する当期純利益、連結純有利子負債、連結純有利子負債／EBITDA倍率の3つの指標を、連結営業利益、連結純有利子負債／EBITDA倍率に変更することといたします。

また、サステナビリティの取り組みを一層推進するため、CDP（注）による評価、従業員サーベイの集計結果を新たな評価指標として追加いたします。

（注）企業等の環境関連の戦略や取り組みなどを評価する外部団体。

	財務指標	非財務指標
変更前	親会社に帰属する当期純利益 連結純有利子負債 連結純有利子負債／EBITDA倍率	
変更後	連結営業利益 連結純有利子負債／EBITDA倍率	CDP評価結果 従業員サーベイ集計結果

ロ. 連結業績評価分における変動幅の一部変更

これまでは、連結決算評価分および業務執行評価分については、それぞれ標準額に対して±30%の範囲で増減した額としておりましたが、連結業績評価分については、±100%の範囲で増減した額といたします。

（下線部は変更部分）

変更後		変更前	
連結業績評価分（注）	± <u>100%</u>	連結決算評価分	±30%
業務執行評価分	±30%	業務執行評価分	±30%

（注）評価指標に非財務指標であるESGの要素を組み込んだことから、名称を変更いたします。

3. 本報酬制度の改正日

2023年4月1日

以 上